

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ

承認 1982年 8月24日

例会日 火曜日 12:30

例会場 愛知厚生年金会館

事務局 ☎763-5110

会長 野村 義雄

幹事 深見 章

会報委員長 北野 寿三郎

No. 30

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身

1987~88年度 R I 会長 チャールズ・C. ケラー

第274回例会 昭和63年 2月16日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇ 出席報告

会員 56 (55) 名 出席 40 名

出席率 72.73 %

前回 2月9日 (修正出席率)98.15%

◇ ビジター紹介 4名

◇ お誕生日祝福

矢野夫人(2/4)、西川君(2/12)、堀江君(2/16)、小坂井君(2/18)

◇ ニコボックス

2月9日

太田 茂君、永井 正義君 2月4日の職場例会では西村さんに大変お世話になりました。

加藤 大豊君 下手な話で恐縮です。御耳障ですがしばらくの時間御辛抱下さい。

小坂井 盛雄君 長男宅に待望の女子が誕生し、これで孫が5人となりました。有難とうございます。尚、本日早退させて頂きます。

西村 禎二君 2月4日には皆様方に何のおもてなしもなく、大変失礼致しました。

ご来寺下さり厚くお礼申し上げます。

江崎 民夫君 夫人誕生日祝い。

堀江 宏輝君 結婚記念日祝い。

2月16日

大口 弘和君 小学六年の長女(雅代)が、名古屋タイムズ少年少女賞を受賞しました。

新美 敢君 本日のスピーカーを紹介させていただきます。

菅原 宣彦君

○加藤敏昌先生、社員が御世話になりました。

○ホームクラブ欠席多く申し訳ありません。

○レコードが出ます。よろしく。

結婚記念日祝い。

佐野 寛君 2月26日(金)10時20分頃東海テレビ「さわやかフライデー」で8分程放映致します。

伊藤 孝君 入会記念。

よろしく願い申しあげます。

秋山 茂則君 本日早退させていただきます。

矢野 勝久君 夫人誕生日祝い。

西川 豊長君、堀江 宏輝君、小坂井 盛雄君 誕生日祝い。

◇ 深見幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さい。

◇ パナー紹介

札幌西RC、札幌RC 菅原 宣彦君

◇ 新入会員紹介



氏 名 伊藤 孝 君

生年月日 昭和15年6月28日

事業所 東海銀行星ヶ丘支店
千種区星ヶ丘元町14-14
TEL 781-6326

地 位 支店長
自 宅 春日井市中央台6-5-6
TEL 0568-91-0533

推 薦 者 水野 民也

職業分類 商業銀行

委員会 親睦活動

◇ 野村会長挨拶

自動車など大型産業が、アメリカやヨーロッパに工場を移し、貿易摩擦の非難と円高のダメージを避けようとしているのに対し、小型産業でも低廉な労働力と安価な原料を求め

て、台湾、韓国に生産拠点をもち、コスト競争力を高めている企業がありますが、最近はい、台、韓の賃金アップから、タイ、マレーシャ、インドネシア、そして中国に拠点を求め出しています。

社会体制の異なる中国に、単に労働力が豊富で労務費が安いという丈で乗り出そうという点について、本当にいいのだろうかという危惧の念を持っています。

中国は1966年から約10年に亘って文化大革命の嵐が吹き荒れました。約1000万人が犠牲となったと言われるこの文化大革命が、どれ程中国の発展をおくらせたか、とんでもない愚行であったと評価されていますが、その当時3度、1968年、69年、71年に私は中国を商用で訪れました。その当時の経験から前述の様な惧れをもつのであります。

その理由を2、3述べてみます。

1. 投下した経営資源は保証されるのか。

中国はハッキリ言って発展途上国で、外資導入の諸制度がどの程度整備されているのか分らない上、反日感情侮日感情が底辺に大きくあるが、日本人は戦時中の贖罪意識と、孔の教えを受けた国の様な思いで中国をみる傾向があるので、そこを巧く利用されている様だ。政府にしても返して貰えるあてのない借款を、総理が訪中の都度何百億円と出しているのがいい例で、取り込まれる危険がある。

2. 労働力は豊富だろうが良質だろうか。

1969年度第2回目訪中時、北京のホテルから眼下の地下鉄工事を眺めていたが、働く人はよく働かぬが働かない人は見事な位働かない。広州の岡の茶店でもよく似た事があった。

その様な就労状態を永く続けていた大衆を考えると、進出した日本企業に良い労働者丈がくるとは考えられない。

3. 全体主義国の怖さ

国交のない当時、経済交流の為、中国に渡るには中国よりの招待状が必要であった。こちらは招待されて行くわけだが、指定された香港のホテルで中国旅行社にパスポートを取上げられ、指定された列車で国境迄行き、国境の橋を徒歩で渡り、人民解放軍と赤旗の中を監視されつつ深圳駅へと進む。日本人同行者は一様に相当な緊張感を覚える。之は招待というものではない。威圧だと思った。

又北京のホテルでは、日経の鮫島記者他2名が、同じホテルにスパイ容疑で幽閉されていた。報導内容が気に入らなかつたらしい。こういったことは、先方では当り前の事なんだろうが、此方は精神衛生上甚だよくない。

この様な状況下で一ヶ月交渉をしたが、帰国後間もなく私は胃を切った。

中国との取引は難しく、楽しみがなく、利益がないと言われている。

外国人と理解を深めることは仲々難しいが日本人の間でも理解が乏しいという事がない様にお互い努めたいものと思います。

◇ 講演

“人や景に風のように出会えたら”

各務企画代表

各務 訓子 さん (紹介 新美君)



「素敵なミズの会」を始めて、もう4年の月日が経とうとしている。そして、会を通して出会った景や人は、何と私自身に大きな影響を与え、

沢山の思い出のシーンを創り上げてくれた気がする。無であった物が、人が集まる事により有に形を作り上げていく行程は言葉以上に深い事であり、振り返れば、いい時期に歩めた様に思う。石井ふく子プロデューサーの話、バイオリニストの佐藤陽子氏の独奏と力強い講演会、明るく快活な中村玉緒さんの対談、最後にカラオケなしで「さぎんかの宿」まで歌って下さった。そして、2月27日には、安井かずみ氏の講演会も控えている。又、沢山の出会いが待っている気がする。素敵と思う瞬間に遭遇し、心から笑えるシーンを、ストーリーの様に、パッチワークの様に襲って行きたいと思う。人生80年、少しでも、人に喜んで頂いたり、影響を与える事の出来る生き方が出来たら幸せだと思う。経験する事により拡大して行く視野を、男女を超えて維持して、プラスアルファにしてイベント企画出来たら……。文化的な企画、人が憩えるイベント等も携っていきたいと思う。無から有に結ばれて行く過程に、大きなロマンを感じ、そこから何かが生まれて来ると思う。一步一步足を踏み入れながら、人生の風景の中を、歩んで行きたい。梅の花が、綻びはじめ、春の足音は、ひたひたと大地に育まれている。この芽吹きの時期の如く、私自身も芽吹いていきたい。人と景に、さりげなく、風のように出会えたら、素晴らしいと思う。

◇ 例会変更のお知らせ

名古屋名北R C 3/2 (※) 創立7周年記念例会及びF.S.M.の為、3/4 (金) 平安殿にてPM 5:30より
豊山一城北R C 3/8 (※) クラブ創立記念例会の為、PM 6:00より

◇ 次回例会 (2月23日)

講演 “国際化について”

朝日新聞編集局次長

香月 浩之 氏 (紹介 秋山君)

◇ 次々回例会 (3月1日)

友愛の日で立食例会の為講演はございません。